



作家略歴

## 菅原健彦

TAKEHIKO SUGAWARA

都市の情景から桜、枯山水の庭、滝、屋久島、そしてニュージーランドの自然へと変化しながら、日本画の可能性を探る。伝統的な技法や素材を尊重し影響を受けながら常に新しい素材や表現方法を見出し、現代の日本画のあり方を追求する。

「墨は限りない物足りなさとは限りない豊かさを合わせ持ち、その中間が無い。だからこそ、それによりかかき、静かに語らせてみたいのである。」 — 菅原健彦

1962年 東京都生まれ

1987年 第5回上野の森美術館大賞展佳作賞受賞

1989年 多摩美術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業

1993年 第12回山種美術館賞展に推薦出品（97年）

1994年 VOCA展 [上野の森美術館]

日本画家の青春展 [郡山市立美術館]

1995年 第5回五島記念文化賞美術新人賞受賞により五島文化財団研修員としてドイツ留学（～96年）

両洋の眼・現代の絵画展

1997年 両洋の眼・現代の絵画展倫雅賞受賞

1998年 第11回MOA岡田茂吉賞絵画部門優秀賞受賞 [文化庁作品買い上げ]

文化庁買上優秀美術作品披露展 [日本芸術院会館]

第32回現代美術選抜展 [文化庁主催 岐阜、愛媛、群馬、岩手巡回]

山梨県新進作家選抜展 [山梨県立美術館]

日本画—純粋と越境-90年代の視点から展 [練馬区立美術館]

2001年 水墨の香り、水墨の造形-21世紀と紙・筆・墨 [韓国国立現代美術館]（～02年）

2002年 墨戯—魅惑の水墨画 [岡山県立美術館]

2003年 両洋の眼・現代の絵画展河北倫明賞受賞

新潟県立万代島美術館開館記念展 I 絵画の現在展 [新潟県立万代島美術館]

現代の日本画—その冒険者たち [岡崎市美術博物館]

2004年 現代の水墨画2004 [富山県水墨美術館]

超日本画宣言—それは、かつて日本画と呼ばれていた展 [練馬区立美術館]

菅原健彦・さちよ展 ～Unter dem Kirshbaum～ [ギャラリー桜の木 銀座]

第2回東山魁夷記念日経日本画大賞展大賞受賞

2005年 日韓現代美術特別展 [福岡アジア美術館]

京都迎賓館の大広間・床の間のための軸装3幅を制作

2006年 現代「日本画」の展望 ～内と外のあいだで～ [和歌山県立近代美術館]

はばたく日本画 ～近代から現代へ～ [新潟県立万代島美術館、佐久市立近代美術館]

菅原健彦・さちよ展 ～Water Scape 水をめぐる眺め～ [ギャラリー桜の木 銀座]

2007年 横山 操、そして現在変わりゆく日本画展 [新潟県立近代美術館]

Paradise NZ 楽園 ～雨の森 ニュージーランド紀行～ [高島屋/東京、大阪、京都、横浜、新宿]

現在 京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科日本画コース教授

無所属

<主な収蔵先> 京都迎賓館、東京国立近代美術館、MOA美術館、上野の森美術館、佐久市立近代美術館、文化庁、京都芸術劇場、岡崎市美術博物館、豊川市桜ヶ丘ミュージアム、日本経済新聞社